



いしかりちほん

2017年3月28日 自治労石狩地方本部機関紙 17-08号

編集・発行 〒060-0806

札幌市北区北6条西7丁目 自治労北海道本部内

石狩地方本部 上山 謙太郎

011-747-1880

石狩地方本部の専従者が代わります

石狩地方本部においては、専従者が上山謙太郎・副執行委員長（恵庭市職労）から菅原直樹・書記長（石狩市職労）に4月1日付けで交代となります。交代にあたり、各専従者からご挨拶をさせていただきます。

<上山副執行委員長挨拶>

各単組・総支部、組合員のみなさまには、2015年4月からの二年間、石狩地方本部の専従者としての任務を与えていただきまして、大変ありがとうございました。また、みなさまには各種集会・行事等に参加していただくなど、多くのご協力をいただきました。改めて感謝申し上げます。

この二年間は私にとりましても、非常に多くの経験をさせていただいた期間になります。各単組・総支部のみなさまからいろいろなお話をお伺いできたことは今後にとっても有益なものになると信じております。

しかしながら、私の力不足もあり、各種取り組みを実施する中で、ご迷惑をおかけした場面も多々あったことと思います。その点につきましては、率直にお詫びをさせていただきます。

4月からは地方行政の現場に戻りますが、地方本部副執行委員長としての立場は残りますので、出身単組である恵庭市職労をしっかり盛り立てて、ひいては今まで以上に石狩地方本部を支えてまいりたいと思っております。

お世話になりました、各単組・総支部のみなさまに改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

<菅原書記長挨拶>



菅原直樹・書記長

はじめまして、石狩市職労の菅原直樹と申します。

上山副執行委員長におかれましては、2年間本当にお疲れ様でした。上山副執行委員長の活躍を目の当たりにし、不安を感じているところですが、石狩地本のさらなる発展のために全力を尽くしていきたいと思っております。

さて、現在の政治情勢に目を移すと、現政権は強引な舵取りで、中央一極集中型の制度改悪を繰り返し、様々な格差が顕在化しています。

こうした格差を解消し、安心して働ける環境づくり、平和で安心した生活ができる社会づくりに取り組んでいくことが喫緊の課題となっています。また、地本の組織再編問題や女性部の在り方等、今後の労働運動発展のための諸課題にも取り組んでいく必要があります。山積する諸課題を解決するために2年間、精一杯

頑張りたいと思っておりますので、石狩地本に結集する皆様の一層のお力添えをお願いいたします。

多くの皆様と交流できればと思っておりますので、お近くにお越しの際は気軽にお立ち寄りください。

<第51回全道自治体職員等野球選手権大会石狩地方本部大会開催のお知らせ>

(日時) 5月20日(土) ※予備日5月21日(日)

(会場) 札幌市/円山球場、麻生球場、美香保球場(20日)、江別市/野幌球場(21日)

(開会式・組み合わせ抽選会) 5月10日(水) 札幌コンベンションセンター

管内単組・総支部から多くのエントリーをお待ちしています。

※今年の全道大会は渡島地方本部管内で開催の予定になっています。

～石狩管内各単組・総支部の紹介～

<北海道医療生協職員労組>

医療生協労組は、清田区北野で「札幌緑愛病院」、白石区南郷6に「緑愛クリニック」と「緑愛訪問看護ステーション」を運営する北海道医療生活協同組合で組織化された労働組合です。昨年11月の第4回定期大会で、「医療生協の存在をアピールし、宣伝できる場を増やそう！」を合言葉に、院外活動の必要性を確認し、執行委員2名の欠員補充を行い、12人態勢（うち女性1名）で、2017年度の組合活動をスタートさせました。



職場改善（春闘）の取り組みは、病院特有の課題ですが、様々な職種や資格者が働いているため、労働条件や労働環境などの問題点が複雑に存在します。そのため、対応・解決に時間を要する不満が発生していますので、早急な対策、改善が必要です。

最後に、連合をはじめ各産別の皆様に、自主福祉活動の一環としてご利用頂いている「健康管理センター」の紹介をさせていただきます。

当院、健診項目の内視鏡には、年間3,000例以上の実績があり、専門医が常勤していますので、経験豊富で安心した検査が受けられます。また、簡単に健診が可能な「巡回検診バス」で、皆様の職場に出向き、健康づくりのお手伝いができればと考えておりますので、この機会にご利用頂ければありがたいです。

<執行体制>

執行委員長 山崎友也／副執行委員長 上村拓史、小原美奈子／書記長 辻村 剛／書記次長 小川正博

<北学労・札学労>

私たちは、学校に勤務する行政職員（学校事務職員）で組織する労働組合です。単組の名称は「自治労北海道学校事務労働組合（北学労：ほくがくろう）」及び「自治労札幌市学校事務労働組合（札学労：さつがくろう）」です。

1974年に私たちの先輩が札学労として結成したのが始まりです。2つの組合を組織構成している経緯については、北海道費負担・北海道条例適用の職員として道教委と交渉を行うため、4年後の1978年に同じ構成員で北学労を結成し、当時はさらに札幌市以外の道内の学校に勤務する組合員も加入していました。その後1992年の自治労加盟を契機として組織が割れ、結果として札幌市以外の組合員が存在しない状況がこれまで続いています。現在は札幌市の学校に勤務する仲間により、同じ構成員、同じ役員体制で2つの組合を運営しています。自治労道本部や石狩地本のみなさんには“北学労”として様々な活動を支援していただいています。

さて、2017年度は私たちにとって大きな変化のスタートとなります。2017年4月1日からの給与費の札幌市への移譲に伴い、北学労には道費条例適用の組合員が在籍しなくなります。北学労としての自治労組織化運動は継続しますが、今後は北学労として道教委を当局とする交渉は行わなくなり、これに替わって札幌市労連の一単組である自治労札学労として市労連の賃金統一闘争に結集して取り組みをすすめます。

私たちの職場環境の特徴・課題として、義務制小中学校勤務者については、ほとんどの学校で事務職員は単数配置であり、職務に関するOJTや職場単位での組織活動が困難な状況にあります。各学校職場では教員や他の職種の仲間と協働しながら、各組合員が一人で奮闘しています。職場は離れていますが、組合員間のネットワークを活かした実務支援や、週1回ペースの教宣紙発行により団結の強化に取り組んでいます。



<執行体制>

執行委員長 平野正志／副執行委員長 本間昌子、櫻田 修／書記長 草刈 智／書記次長 森 政蔵

（編集後記）私が作成する「いしかりちほん」は今回で最後となります。次号からは菅原さんが担当します！（う）